



あすなろう

加賀市立東和中学校
校長 亀田 憲一郎
令和3年10月18日

～充実の2学期～

2学期も中盤を迎え、体育祭や修学旅行・遠足など、大きな行事が続いています。生徒会やリーダーが中心となって、学級や学年をリードしてくれています。また、学校全体を引っ張ってくれる3年生の力強い姿を見ると、頼もしい限りです。自律・共生・貢献というキーワードのもと教育活動を行っていますが、行事を通して、生徒一人一人がその実現に向けて取り組み充実している様子が見られます。次の大きな行事は文化祭です。今、生徒会を中心に企画を練っています。生徒たちが夢を持てる、夢を語る文化祭になるよう、職員一同支援してまいります。ご期待ください。

体育祭 ミッションコンプリート

秋晴れのもと、体育祭『ミッションイン TOWA ポッピンブル』を開催することができました。

三笑(爆笑 必笑 優笑)のローガン通り、みんなの笑顔がはじける体育祭となりました。

コロナ禍の中、密にならない競技を考えたり、ダンスパフォーマンス中心の応援を考えたりと、生徒たちの工夫が満載の体育祭でした。無観客のため、保護者の皆様にお見せすることはできませんでしたが、生徒は満足感でいっぱいでした。体育祭ミッションをコンプリートしました。



人権講演会

加賀市教育委員会主催で人権啓発講演会を開催しました。和歌山県と加賀市とをオンラインでつなぎ、東和中と山代中と合同で開催しました。講師は、和歌山県人権啓発センター所属の岩崎順子さん(いのちの講演家)でした。岩崎さんは、夫婦と子供3人の家族だったのですが、ご主人をガンで亡くされました。そのときに感じた、「生きること」や「命のこと」について、話していただきました。

私が印象に残ったお話は、

5歳の娘の膝で泣いたとき、子供たちに力をもらって

生きてきたことに気づいた・

ありのままを受け入れること・

家族と共に過ごす時間は、かけがえのない大切な

時間・

人の心の痛みを感じ、寄り添える人になりたい・

人は生かされている・

などでした。

聞いていて胸が苦しくなるようなお話を、優しい語り口で丁寧に話していただきました。オンラインでしたが、学校全体にしっかりと静かな優しい時間が流れました。



加賀市中学校新人大会

加賀市中学校新人大会が開催されました。初めて大会に臨む生徒も多く、緊張している面もありましたが、東和中生徒の一生懸命なプレーを見ることができました。

勝った喜び、負けた悔しさ、試合に出た緊張感、控えのモチベーション、どれもが生徒一人一人の大切な経験となり、これからの人生の糧となります。勝負の結果以上に、得たものは大きいのではないのでしょうか。自分の長所は何か、足りないところは何かをしっかりと振り返り、次につなげてほしいと思います。

加賀市新人大会結果

【野球】 優勝

【ソフトテニス】

団体 優勝 個人 3位

【バスケットボール】1回戦敗退

【ソフトボール】 敗退

【男子バレーボール】 3位

【女子バレーボール】 3位

【卓球】

団体 4位 個人 優勝



3年生 修学旅行

コロナ禍により、2度にわたって変更を余儀なくされた3年生の修学旅行が、先日行われました。1日目は加賀市を堪能する旅、2日目は福井県の旅でした。1日目の山中温泉は、近くに住んでいるにもかかわらず、初めて訪れる生徒が多く、温泉情緒と溪谷の自然に浸っていました。1日目の最後に訪れた片野海岸は、加賀市を代表するとても美しい海岸で、生徒たちは夕日に向かって青春していました。2日目の恐竜館博物館では、迫力ある恐竜の展示に目を丸くしながら、地球の過去に思いを馳せていました。JAM勝山では、友達とのんびり昼食を食べ、その後はサイクリングやソリ遊び、グランドゴルフ等を楽しみました。高原の爽やかな風の中で、心と体を癒しました。3年生のみんなが思い描いていた修学旅行とは違ったかもしれませんが、少しでも思い出に残る旅であったことを願っています。

